

# 平成 29 年秋期 六浦東地区推進連絡会

## 1 日時

平成 29 年 10 月 30 日(月) 19:00~20:45

## 2 場所

関東学院大学 Foresight21・10 階中会議室

## 3 参加者 51人

(地域側) 自治会等地域団体関係	23人
学校関係 (六浦中、関東学院大学)	3人
(支援チーム、その他行政側)	
区役所・市役所	16人
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	6人
警察署、消防署・消防団	3人

## 4 地域課題の解決に向けた地域の取組と区の支援

資料 2 に沿って、区長から説明。

- ・ 金沢区は少子高齢化、単身世帯の増加、空き家の増加、地域活動の担い手不足、少子化による養育者の孤立化、防災といった課題に直面している
- ・ 課題解決に向けて、①介護予防・生活支援サービス補助事業を開始したほか、認知症初期集中支援事業などの地域包括ケアの推進、②コモンセンス・ペアレンティング(CSP)を活用した子育て支援、③地域防災拠点訓練指導員養成訓練、かなざわ強助隊といった防災の取組、④身近な生活課題の解決に向けた地域の取組をサポートする補助制度、⑤多世代が集う居場所づくり、⑥地域、区役所、地域ケアプラザ、区社協等が集まって意見交換する地区推進連絡会の開催、といった取組を地域の皆様とともに進めている。

## 5 もりのお茶の間の進捗状況報告

資料 3 に沿って、平成 28 年 11 月に開所した「もりのお茶の間」(住民同士の輝き「人材マップ」を中心とした拠点)について、六浦東・まち交流ステーション委員会の滝澤事務局長から説明。

### (1) 「もりのお茶の間」のこれまでの経過

- 平成 8 年に地域ぐるみで地域の子どもたちを見守り育てていきたいという思いから「人材マップ」が誕生。20 年以上がたった今、登録数は 100 人を超えている。「人材マップ」をこのままにするのではなく、後継者を育てるための常設の居場所が必要と考え、もりのお茶の間を立ち上げた。

### (2) 進捗状況報告と課題

#### ① サロン部会

- ・ 日替わりランチは、平均して月 28 万円売り上げがある。
- ・ 10 回分のポイントを貯めての利用は、1 年間で 200 枚を超える見込み
- ・ 多世代型子ども食堂から、子供夕食会に移行した。貧困・孤食など、本当に必要とする子どもを対象に支援していく。

- ・ 後継者発掘を狙って「宵のサロン」を開始した。昼間働いていても夜なら手伝えるという方に手伝ってもらいたい。
- ・ 曜日による収益のばらつき、原価率の縮減、夜のスタッフ確保、新規の方への広報が今後の課題である。

## ② 高齢者支援部会

- ・ 地域での困りごとに対し有償ボランティアを派遣し、もりのお茶の間には10%の戻し金が出る「ねこの手」の活動は、収益は少ないものの今後も広報に力を入れていきたい。
- ・ 認知症カフェ（お茶の間カフェ）を月1回開催している。
- ・ 「ねこの手」の広報、お茶の間カフェの広報等が課題。

## ③ 子育て支援部会

- ・ 「子ねこの手」の活動が、子どもイベント、お茶の間カフェなどさまざまな場面で活躍している。
- ・ 夏休みお楽しみ会やハロウィンイベントの開催
- ・ 若いお母さん方のフォロー、協力スタッフを増やすことなどが課題。

## ④ 防災ボランティア部会

- ・ 各町内会の防災ボランティアに対しての温度差があり、災害に際しての人的備えをする必要がある。
- ・ 各町内会の足並み、中学生の防災意識を高めるための六浦中学校との連携等が課題。

## ⑤ レンタルボックス・レンタルスペース部会

- ・ 月平均18,000円の売り上げ
- ・ ボックスの半分は使われていない。貸しスペースとしての利用の拡大をさせたい。

## ⑥ 寺子屋部会

- ・ 毎週月曜の放課後寺子屋開催（14回開催延べ45名参加）と、夏休みの集中寺子屋（6日間延べ78名参加）を経て、子ども夕食会との連携を模索中。
- ・ 放課後寺子屋の利用拡大、助成金（子供未来応援基金）が次年度もらえるかわからないなかで助成金終了後の事業費確保が課題。

## ⑦ カルチャー部会

- ・ 現在、スペース料を支払ってのカルチャーは歌声サークルと茶道教室。
- ・ カルチャー種目と利用者の拡大が課題。

## 【意見交換】

（伊藤氏）

- ・ 寺子屋部会では、月1、2回ソロバンの先生に来てもらえることになった。早ければ来月から実施したい。

（岩崎氏）

- ・ サロン部会は最も収益が上がる事業だが、天候に左右され、雨が続くと売り上げが半分まで落ち込むこともある。周辺の事業所の休みも影響する。新規にボランティアでやってくれるスタッフの開拓も必要。広報もこまめにやっていきたい。

- ・先日、夜のサロンを1回やってみたが、原価が高く収益が出なかった。

(関東学院大学中津准教授)

- ・20年以上地域で続いている「人材マップ」を切り口に拠点を立ち上げて1年が経とうとしている。立ち上げ後に問題になるのはお金のこと。助成金がなくなったときに立ち行かなくなってしまうようにしたい。

(岩崎氏)

- ・地域ケアプラザとも連携して、認知症カフェを始めた。

(下城氏)

- ・高校生以上になると日中は地域の外に出てしまい、中学生が一番地域にいますので、中学校と連携し、中学生ボランティアを育てるなどしていきたい。釜利谷地域では取組が始まっていると聞いているので、やり方を学びたいと考えている。

(相川氏)

- ・レンタルボックスは、遠方の方の利用が多い。近所の人に自分の作品が見られるのは恥ずかしいという人も多いということが1年間やってみてわかった。

(滝澤氏)

- ・いきいきフェスタでは餃子を販売したところ、1時間で売り切れた。子育て支援部会では、明日のハロウィンのため地域のお母さんたちが毎日夜遅くまで連絡を取り合って準備している。
- ・行事のたびにスタッフは苦勞している、住民同士のつながりづくり、後継者につなげていくことができたらという思いでやっている。

## 6 地域課題についての意見交換

(岩崎氏)

- ・瀬ヶ崎小のスクールゾーン対策協議会が毎年あるが、雪見橋から柳町に行く道が隘路になっていて危険という問題提起あり。内川橋から関東学院こども園に行く間の歩道が狭いため、川に遊歩道を新設し、桜を植えてはどうかと考える。

(中津准教授)

- ・賛成する。線的な空間をどうするか、これを機会に議論が始まると良い。

(岩崎氏)

- ・南共済病院が病棟を新築し、以前は16号線からすぐに外来棟に入れたのに坂を上らないと入れなくなった。病院に2回申し入れをしたところ、12月末までに工事をするとのこと。

(瀬ヶ崎小梅田校長)

- ・南共済病院側の歩道を通学に使いたいが、途中で渡る場所が決められない。横断歩道を設置する等、子供の安全のために改善してほしい。

## 7 その他

(1) 金沢警察署 (生活安全課杉山氏)

- ・振り込め詐欺被害が増えている。区内ではすでに7,800万円の被害額が出ている。すぐ近くまで来てお金を受け取る手口も増えているため、皆さんからも周囲の方への注意喚起をお願いしたい。

(2) 金沢消防署（丸茂六浦出張所長）

- ・ 火災件数について、今年度は10月末までで区内36件、昨年より8件増。救急車出動件数は昨日までで8,939件、昨年度の同じ時期より600件以上増えている。#7119の救急相談センターで、救急かどうか、土日の病院案内も行っているので活用してほしい。

(3) 消防団（第7分団長岩崎氏）

- ・ 10月23日の台風21号では、2号配備が発令され、消防団9名でパトロールを実施。翌日午前4時に関東学院大学正門前が50mに渡り、深さ30～50cm浸水したため、交通整理を行った。

(4) 瀬ヶ崎小学校（梅田校長）

- ・ 11月の地域防災拠点訓練は今年度も学校も合同で行わせていただく。今回は、子どもたちが避難訓練をする様子を地域の方々に見ていただければと考えている。

(5) 六浦中学校（山下校長）

- ・ 地域防災について中学校との話があったが、今後、進めていきたい。

(6) 関東学院大学（中津准教授）

- ・ 地域には日々、学生がお世話になっている。また、瀬ヶ崎小でも年4回学生によるワークショップをやらせてもらっている。

(7) 柳町地域ケアプラザ

- ・ 地域包括支援センターとして、地域の皆様が何かあったときに駆け込める場所として機能していきたい。

(8) 土木事務所（脇本土木事務所長）

- ・ 先日の2週続いた台風では浸水被害はほとんどなかったが、高潮被害があちこちで出た。区内では、侍従側上流、宮川、イオン前の歩道が浸水した。地盤が低いところでは、降った雨に対応できるようにはしているが、高潮への対応は十分とは言えない状況であるため道路局とも協議をしているところ。浸水の不安があるときは、土嚢をお渡しすることができるので利用してほしい。

(9) 区社会福祉協議会（山下事務局次長）

- ・ 防災、道路の問題など、さまざまな地域課題がある。担い手の部分ではぜひ協力していきたい。